

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

経営管理実施権の選定委員会に出席しました。



最上町副町長挨拶

【7月15日（木）】最上町中央公民館において、「最上町経営管理実施権の設定を受ける民間事業者の選定委員会」が行われました。

経営管理実施権とは、森林所有者自らが経営管理を実行できない場合に、市町村が経営管理の委託を受け意欲と能力のある民間事業者に再委託する制度です。

委託された民間事業者は、森林所有者に代わり適時に伐採、造林又は保育を実施することにより、適切な経営又は管理を持続的に行うこととなります。

今回の選定委員会は、令和3年4月に公募を行った箇所について行われました。

選定委員は最上町副町長（委員長）に当支署長を加えた6名で構成されています。

副町長（委員長）の挨拶の後、事務局から公募状況についての説明あり、提案書の提出のあった民間事業者について、定められた審査基準により審査を行いました。

最上町では本件で3回目の経営管理権の設定になりますが、今回の公募の特徴として、間伐による育林を行うエリアと「伐って、使って、植える」主伐（高齢木を一定の団地で伐採する）・再造林を行うエリアが混在していることがあげられます。

当支署では、今後も新たな森林管理制度の推進について、関係市町村と連携しながら民有林の森林資源の適切な管理に協力していきます。

OJT（職場内研修）を実施いたしました。



鉄鋼スラグ（写真下）

【6月29日（火）】当支署の若手職員を対象とした、職場内研修（OJT）を実施いたしました。

内容は、土木業務（林道の整備等）全般についての室内学習と、実際の現場作業の状況について学びました。

土木事業は、主に木材を搬出するための路網の整備（新設）等、森林整備を進める上で重要な位置づけを担っております。

現場学習では、鉄鋼スラグ（簡易舗装材）について学びました。

特徴は、鉄鋼製造工程において発生するスラグ（副産物）を林道に敷き、散水、転圧することにより固化（コンクリート舗装のイメージ）し車両のスムーズな走行を可能とします。（山形県内では初めての工事）現場責任者からは、施工にあたっての留意点や、コスト面についての課題等について説明がありました。若手職員には、これから様々な業務等を経験することで、知識と経験を積み、立派な国有林野マンとして活躍することを期待します。



山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林